

重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

FC6A形 MICROSmart

FC6A形 MICROSmart において、以下5件の現象を確認いたしました。対象製品をご使用のお客様は以下に記載している内容をご確認の上、ご対策くださいますようお願いいたします。

現象一覧

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
1	増設モジュールの最小/最大値リミットで設定値エラーが発生する	FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.40 FC6A形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.00 FC6A形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.00	2019年5月末
2	ワンタイムアップロードでアップロードされたファイルの名前が指定したファイル名と異なる	FC6A形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.00	
3	FTPクライアント機能で最新のファイルが転送されない場合がある	FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.40	
4	内蔵アナログ入力(AI1)のデータタイプを任意指定にすると正しく動作しないことがある	FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.40	
5	特殊データレジスタを使用してIPアドレスを設定した場合、電源ONしても、コネクション設定の通信モードで通信できない	FC6A形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.40	

対策方法

Automation Organizer Ver.3.16.0 に同梱される以下バージョンのソフトウェアで対応しております。

- | | |
|--|---------------------|
| <input type="checkbox"/> FC6A 形 Plus CPU モジュール | システムソフトウェア Ver.1.40 |
| <input type="checkbox"/> FC6A 形 All-in-One CPU モジュール | システムソフトウェア Ver.2.00 |
| <input type="checkbox"/> FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール | システムソフトウェア Ver.2.00 |

弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」より上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンのインストーラ（「10_Automation Organizer アップデート版インストーラ」）をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

<http://www.idec.com/jpia/ao/>

システムソフトウェアのバージョン確認手順

お手元の FC6A 形 CPU モジュールに内蔵されているシステムソフトウェアのバージョンは、WindLDR の PLC ステータス画面（図 1 参照）でご確認いただけます。PLC ステータス画面は、WindLDR の [オンライン] タブの [モニタ] で [モニタ] をクリックして FC6A 形 CPU モジュールと接続した後、[ステータス] をクリックすると表示されます。

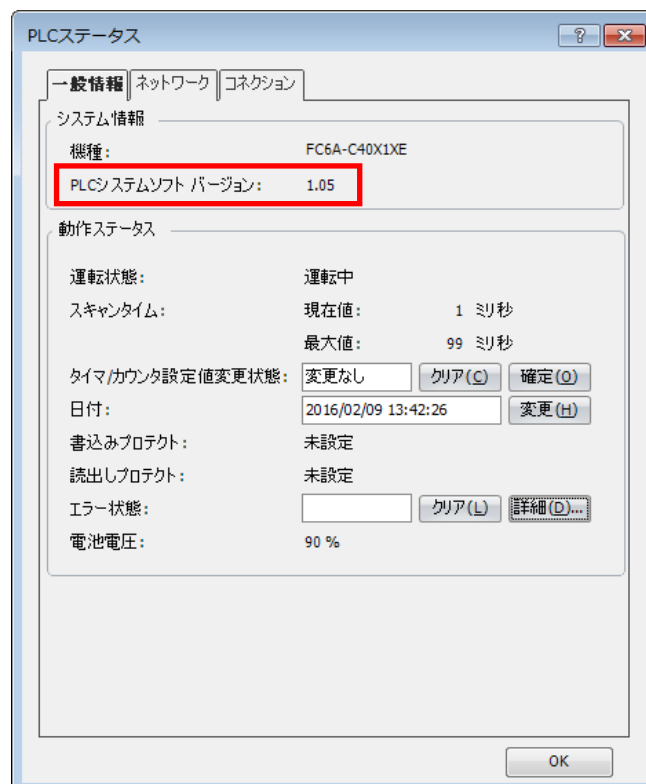


図 1 PLC ステータス画面

現象 1

【対象製品】

- FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver1.00～Ver1.31
- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver1.02～Ver1.90
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver1.02～Ver1.90
(Automation Organizer Ver.3.10～Ver.3.15.1/ WindLDR Ver8.0.0～Ver8.11.0)
- 製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール
FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE
- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール
FC6A-C16*1*E、FC6A-C24*1*E、FC6A-C40*1*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール
FC6A-C40*1*EJ

【現象】

FC6A-L03CN1、FC6A-J4CN1、FC6A-J4CHY1、FC6A-J8CU1 を表 1 に記載の設定（動作モードとデータタイプ）で使用すると、「パラメータ設定エラー（3）」が発生します。

表 1 アナログモジュール設定

アナログモジュール	動作モード	データタイプ
FC6A-L03CN1	B タイプ熱電対	華氏 (° F)
FC6A-J4CN1	C タイプ熱電対	
FC6A-J4CH1Y		
FC6A-J8CU1	B タイプ熱電対	華氏 (° F)
	C タイプ熱電対	
	PTC サーミスタ (しきい値)	バイナリデータ

【暫定的な回避方法】

WindLDR のアナログモジュール設定画面にて、「動作設定用データレジスタを使用する」のチェックボックスを ON にし、PLC の初回スキャン時に該当するデータレジスタ（最小値、最大値）の値を表 2 のとおり設定してください。

表 2 アナログモジュール設定

アナログモジュール	動作モード	データタイプ	設定値	
			最小値	最大値
FC6A-L03CN1	B タイプ熱電対	華氏 (° F)	0	0
FC6A-J4CN1	C タイプ熱電対		0	0
FC6A-J4CH1Y			0	0
FC6A-J8CU1	B タイプ熱電対	華氏 (° F)	0	0
	C タイプ熱電対		0	0
	PTC サーミスタ (しきい値)	バイナリデータ	※1	※1

※1 100Ω～10000Ωの範囲で、最小値 < 最大値となるように設定してください。

現象 2

【対象製品】

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02~Ver1.90
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver1.02~Ver1.90
(Automation Organizer Ver.3.10~Ver.3.15.1/ WindLDR Ver8.0.0~Ver8.11.0)
- 製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

- FC6A 形 All-in-One CPU モジュール
FC6A-C16*1*E、FC6A-C24*1*E、FC6A-C40*1*E
- FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール
FC6A-C40*1*EJ

【現象】

SD メモリカード設定 (図 2 参照) でワンタイムアップロードを有効、ファイル名を“upload”以外に設定しても、アップロードされるファイル名は“upload.zld”となります。(ZLD ファイル自体には正しいデータが格納されています)

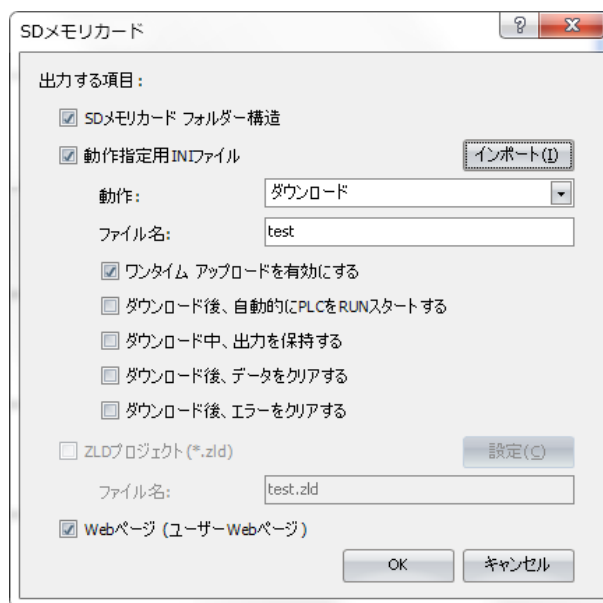


図2 SDメモリカード設定画面

【暫定的な回避方法】

WindLDR の SD メモリカード設定のファイル名を“upload” (図 3 参照) にしてください。

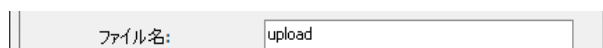


図3 設定ファイル名
IDEC株式会社

現象 3

【対象製品】

□FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver1.00～Ver 1.31

(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.15.1/ WindLDR Ver8.6.1～Ver8.11.0)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FC6A 形 Plus CPU モジュール

FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE

【現象】

FTP クライアント機能でファイルを転送する条件として「最新ファイルのみ」を設定（図 4 参照）しても、FTP サーバーへ最新ファイルが転送されない場合があります。

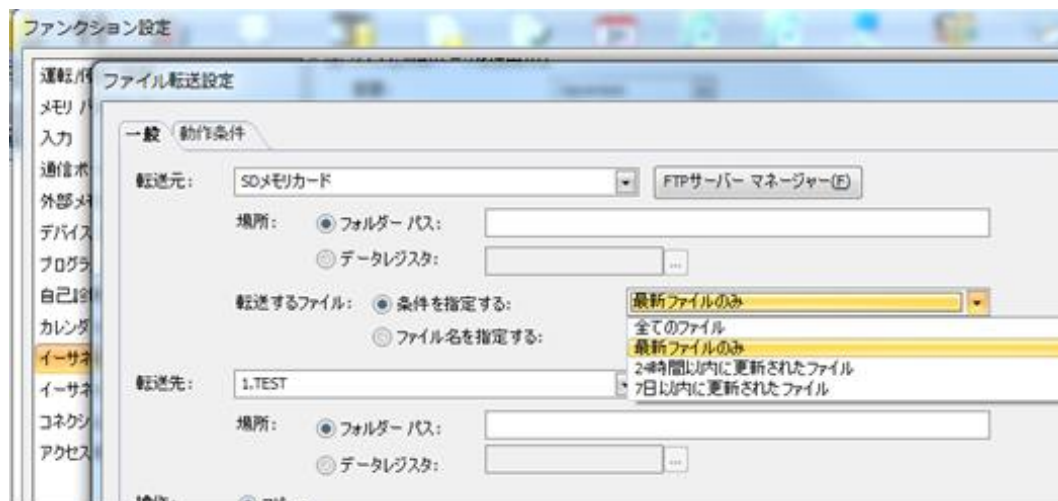


図 4 ファイル転送設定画面

【暫定的な回避方法】

フォルダ内に 1 ファイルのみ存在する状態にするため、ファイル転送の操作を“移動”に設定（図 5 参照）してください。

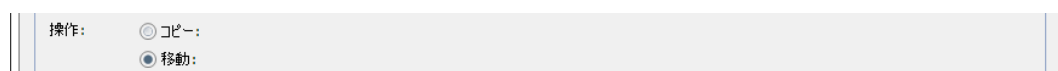


図 5 操作設定

現象 4

【対象製品】

□FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver1.00～Ver1.31

(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.15.1/ WindLDR Ver8.6.1～Ver8.11.0)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FC6A 形 Plus CPU モジュール

FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE

【現象】

内蔵アナログ入力 (AI1) で任意指定を選択 (図6、図7参照) し、最小値または最大値に負の値を設定したとき、アナログ入力値 (D8058) に正しい値が格納されません。

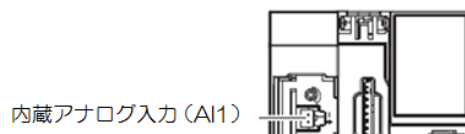


図6 FC6A 形 Plus CPU モジュール内蔵アナログ入力 (AI1)



図7 アナログ入力 (AI1) 任意設定

【暫定的な回避方法】

内蔵アナログ入力（AI1）でデータタイプとしてバイナリデータを選択（図8参照）し、XY変換命令で任意の値へ変換してください（図9参照）。

アナログ入力							
アドレス	フィルタ(回)	動作モード	データタイプ	最小値	最大値	データ	ステータス
AI0	10	アナログボリューム	バイナリデータ	0	1000	D8057	D8059
AI1	10	0~10V DC	バイナリデータ	0	4000	D8058	D8060

図8 アナログ入力（AI1）バイナリデータ設定

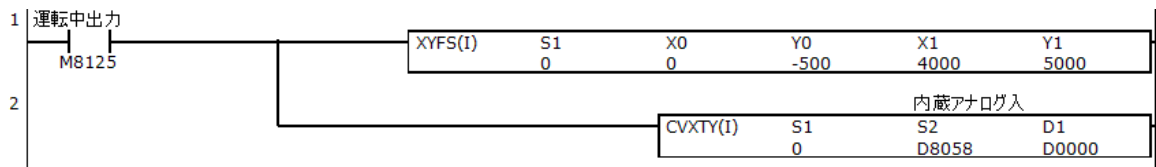


図9 ラダープログラムによる回避例（最小値-500、最大値5000への変換）

現象 5

【対象製品】

□FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver1.00~Ver 1.31

(Automation Organizer Ver3.90~Ver3.15.1 / WindLLDR Ver8.6.1~Ver8.11.0)

製品形番 : SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

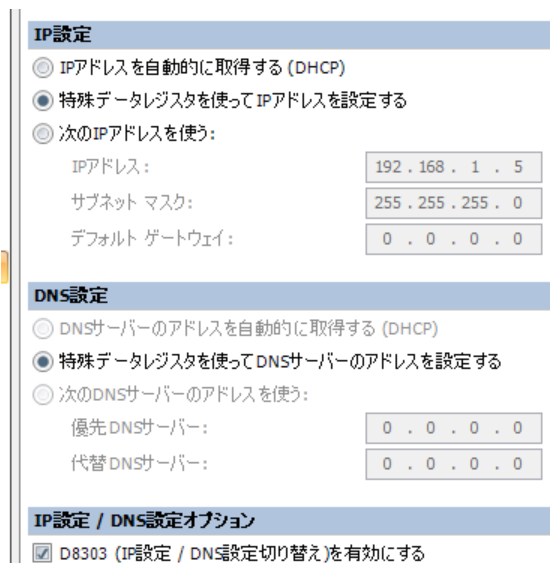
上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FC6A 形 Plus CPU モジュール

FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE

【現象】

ファンクション設定の IP 設定、または、D8303 で「特殊データレジスタを使って IP アドレスを設定する」を設定し、特殊データレジスタで IP アドレスを設定した時（図 10 参照）、電源を再投入しても、コネクション設定で指定した通信モードで通信できません。



IP設定

IPアドレスを自動的に取得する (DHCP)

特殊データレジスタを使ってIPアドレスを設定する

次のIPアドレスを使う:

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 5

サブネット マスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

DNS設定

DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する (DHCP)

特殊データレジスタを使ってDNSサーバーのアドレスを設定する

次のDNSサーバーのアドレスを使う:

優先DNSサーバー: 0 . 0 . 0 . 0

代替DNSサーバー: 0 . 0 . 0 . 0

IP設定 / DNS設定オプション

D8303 (IP設定 / DNS設定切り替え)を有効にする

図 10 IP 設定画面

【暫定的な回避方法】

対象製品の電源再投入し、運転開始から 3 秒以上経過した後、以下の特殊内部リレーを ON してください。

(図 1 1 参照)

M8190 (CPU モジュール Ethernet ポート 1 ネットワーク設定変更トリガ)

M8333 (CPU モジュール Ethernet ポート 2 ネットワーク設定変更トリガ)

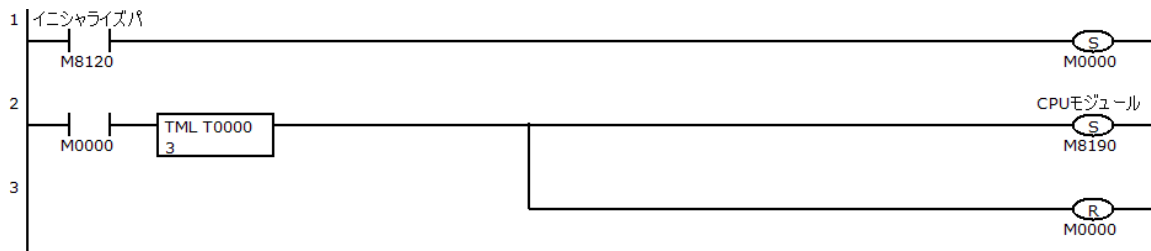


図 1 1 ラダープログラムによる回避例